

Epistula

大分県立芸術文化短期大学 広報誌 エピストウラ

EPISTULA: 古典ラテン語で“手紙”という意味です。
 広報室からみなさまへ、芸文短大の“いま”を伝えるお手紙をお届けします。



表紙 / 国際総合学科 車いすマラソン出場選手の皆さんと一緒に

特集

4学科1年間の活動報告



退職する教員からのメッセージ



美術科

中島 暢美

卒業生、修了生の皆様、おめでとうございます。本学に就任し7年半を経て、私も皆様と一緒に御暇することとなりました。コロナ禍は、実習が必須の教職課程では想像以上の問題が次々と生じ、目まぐるしい日々を過ごしました。教職課程の学生は2年間という限られた期間で各々の専門科目を履修しながら教員免許取得を目指すため、そもそも多忙な2年間になります。コロナ禍に限らず、成し遂げた学生は精神的に大きく成長され驚かされることもありました。今後も教員志望の学生が本学の教職課程から羽ばたいてゆくことを心から願っています。



情報
 コミュニ
 ケーション
 学科

吉山 尚裕

本学着任は、1992年の春でした。かくも長く勤務させていただき、有難うございました。学生が素直で真面目だったので居着いてしまいました。3月になると「2年で卒業とはもったいない」と思っていました。むろん「もっと伸びる」ことを期待してです。同僚にも恵まれ、通算8年兼務した教務学生部でも楽しく過ごせました。大分県関連では、明るい選挙推進協議会や県立病院の医療倫理委員会の業務を20年以上お手伝いしました。かくして芸短生活を満喫しましたが、やり残しも多く、今後少しは形にしようと思っています。在学生と卒業生、教職員のみなさま、ご健康とご多幸をお祈りします。



国際
 総合学科

前山 悠

三年半、大変お世話になりました。お世話になりましたというのはまさしくそのとおりで、いつも心優しく思いやりをもって接してくれる芸短生の皆さんにどれだけ支えられてきたかわかりません。心から感謝しています。どうもありがとう。

今後私は翻訳業に専念し、主にフランスの小説の翻訳に携わっていきます。価値があると思ってもらえる仕事をこれからも心がけていきますので、もしどこかで私の訳本を見かけたら手に取ってやっていただければ幸いです。皆さん、どうかお元気で。では。

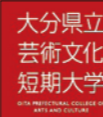
大分県立芸術文化短期大学応援基金のお礼 (令和6年11月1日～令和7年1月31日)

ご寄附をいただいた個人及び法人・団体のうち、お名前のご公開に同意をいただいた方のご芳名を掲載しております。ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

- 個人** 穴井 裕子様 綾野 鉄扇様 綾野 ひとみ様 荻野 哉様
 河野 珠貴様 志賀 勉様 清水 万敬様 徳部 修様
- 法人** MIHO クリーニング 代表者 川崎 美穂様

情報を
 いち早く
 Get!

芸文短大 検索 <https://www.oita-pjc.ac.jp>



Facebook



Instagram



X(旧 Twitter)



YouTube

大分県立芸術文化短期大学の公式 SNS では、本学が主催するイベント・展覧会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、学科や研究室のほか、サークル、イベント等でも SNS を立ち上げています。

第63回美術科卒業・修了制作展

1月28日⑧～2月2日⑨に大分県立美術館OPAM（1F展示室A…デザイン専攻、3F展示室B…美術専攻）にて「第63回美術科卒業・修了制作展」を開催。短大生は2年間、専攻科生は4年間、美術やデザインを専門的に学び、その集大成となる研究・作品発表の場として全107名による149点の作品を展示しました。



進級制作展

美術科美術専攻1年次生 & 専攻科造形専攻美術コース 1年次生作品展



美術科美術専攻、専攻科造形専攻美術コースでは、4分野（油彩画、日本画、ミクスト・メディア、彫刻）から専門分野を定め制作研究に励んでいます。美術科、専攻科の1年生合わせて38名による100点以上の個性溢れるフレッシュで意欲的な作品たちが展示されました。

期間中は学生によるギャラリートークも行われ、学生自身が作品に込めた思いや工夫した点などを発表しました。

「うすき竹宵」に参加しました

11月2日④・3日⑤に白杵市で開催された「うすき竹宵」に参加しました。デザイン専攻プロダクトデザインコースの1年生から専攻科2年生までの学生と、メディアデザインコース映像ゼミの専攻科1年生が参加しました。プロダクトデザインコースは稲葉家下屋敷の庭園に学生たち制作の竹の造形物を配置。

メディアデザインコース映像ゼミは、龍原寺にて、白杵の魅力やお寺に伝わる古式泳法の日本画絵巻をアニメーションにし、プロジェクトマッピングを用いた映像演出を行い、竹宵を彩りました。



So Graphics for Art Book を開催しました

スウェーデン出身のヤスミナ・カルリ・マルムステンさんと京都府出身の中桐聡美さんが大分県に滞在し、制作活動を行いました。1月25日④に別府市のBEPPIU STUDIO 01にて、So Graphics for Art Bookアーティストトークを開催し、滞在期間に制作した作品の発表会も行いました。



1回の舞台経験は100回の練習に勝る!

音楽科では「1回の舞台経験は100回の練習に勝る」をモットーに音楽科コンサートシリーズを開催し、多くの本格的なステージに立つて演奏する機会を学生たちに与えています。今年度もさまざまな演奏会を開催しました。その一部をご紹介します。



第60回定期演奏会

9月 「若さあふれるコンサート」

前期実技試験成績優秀者を声楽・ピアノ・管弦打の各コースから選抜き、独唱・独奏による演奏を披露しました。

10月 「第60回定期演奏会」

学科総動員で挑む定期演奏会。第60回となる今年はソリストを各コースの学生が担当しました。

各コースの特色あふれるコンサートも開催しました。

11月 「ピアノコース演奏会～ピアノ音楽への誘い～」

12月 「管弦打コース演奏会～師走に心温まるひとときを～」

2月 「声楽コース演奏会～声の響宴～」

1年間の集大成である「第63回卒業演奏会」、

3月 専攻科音楽専攻「第41回修了演奏会」を開催します。

「第63回卒業演奏会」

日時 3月17日(月) 17:30開場 18:00開演

場所 本学 音楽ホール棟音楽ホール

「第41回修了演奏会」

日時 3月18日(火) 17:30開場 18:00開演

場所 本学 音楽ホール棟音楽ホール

若さあふれるコンサート



ピアノコース演奏会～ピアノ音楽への誘い～



声楽コース演奏会～声の響宴～



管弦打コース演奏会～師走に心温まるひとときを～



地域巡回演奏会を開催しました



9月10日(土)に別府市立別府中学校、9月12日(日)に臼杵市立臼杵小学校にて、令和6年度の地域巡回演奏会を開催しました。
本学音楽科、専攻科音楽専攻の学生たちが、オペラ・ハイライト、ピアノソロ、弦楽アンサンブル、木管五重奏、金管五重奏、合唱などを披露しました。また、最後には児童・生徒の皆さんと一緒に校歌を歌いました。

青柳晋先生によるピアノ特別講義を実施しました

8月28日(土)～8月31日(月)、本学音楽ホールにて、東京藝術大学教授青柳晋先生によるピアノ特別講義を行い、専攻科音楽専攻と音楽科2年のピアノコースの学生29名が受講しました。
「青柳晋先生によるピアノデュオリサイタル」が開催され、本学音楽科の宮添奈央子准教授、喜多宏丞講師とのデュオや連弾が演奏されました。
個人レッスンでは、楽曲の背景、情感の表現方法、指の運びなど、受講生に丁寧にご指導いただきました。



大分上野丘高校の芸術文化体験教室にて演奏会を行いました



11月6日(土)大分上野丘高校の芸術文化体験教室がホールにて行われました。本学音楽科の教員をはじめ、学生や卒業生が演奏を披露しました。本格的な演奏会に高校生も緊張した雰囲気でしたが、演奏が始まると生演奏の迫力を肌で感じ、皆さん聞き入っていました。

オペラサークルによる『Opera Piena Di Vita』を開催しました

12月21日(土)、本学のオペラサークル Opera Piena Di Vita が音楽ホールにて「オペラガラコンサート」を行いました。第一部ではオペラ名曲ハイライトと題し、ストーリー仕立ての曲目を披露。第二部はオペレッタ『コウモリ』ハイライトとして、7曲披露しました。観客は歌の魅力とその演技に聞き入りながら鑑賞し、賑やかな公演となりました。



「佐藤美枝子客員教授 声楽特別公開レッスンを開催しました」

1月17日(金)、18日(土)の2日間、本学音楽ホールにて佐藤美枝子客員教授の声楽特別公開レッスンを開催しました。学生をはじめ、一般の方など多くの聴講者が見守る中、専攻科音楽専攻声楽コースの学生らが個人レッスンを受けました。世界的に活躍するプリマドンナの指導に、レッスンを受けた学生はもちろん、聴講者も真剣な表情をして耳を傾けていました。



ローカルからグローバルまで幅広い研究 卒業研究発表会を開催

1月27日⑧、28日⑨の2日間、国際総合学科卒業研究発表会を開催しました。2年間の集大成である卒業論文の内容をそれぞれのゼミに分かれて発表しました。国際総合学科では、学生一人ひとりが積み上げてきた経験や知識が詰まった発表となり、学んだ外国語を取り入れた発表や、日本と海外の文化との違いを検証するなど、それぞれの分野を深く掘り下げた多彩な研究発表となりました。



西洋史研究室
【ヨーロッパ文化史研究】
●バルトークとコダーイによる音楽研究と音楽教育
●十人分を生きたウィリアム・モリス
—モリスの理想と現代の重なり—



世界史研究室
【世界遺産から見る文化交流】
●世界遺産から見た持続可能な観光づくり
●朝鮮王朝とハンガルの誕生



イギリス・英語圏研究室
【イギリス・英語圏研究】
●『ハリー・ポッター』から読み取れるイギリス文化と社会
●イギリスファッションの歴史・文化と日本への影響
—イギリスと日本のファッション—



アメリカ研究室
【American Studies】
●How Japanese people improve English pronunciation
●Impact of Digital Devices on Children in Japan and the U.S.



観光学研究室
【観光研究】
●聖地巡礼による観光客の誘致について
●訪日外国人観光客の地方誘致に向けた観光戦略の考察



文化経済学研究室
【文化経済学研究】
●インフルエンサーが与えるコストメンドへの影響力
●HYBEのマーケティング戦略



中国研究室
【中国研究】
●中国と日本の敬語に関する考察
—企業の謝罪文を中心に—
●訪日中国人観光客の地方観光
—九州地方を中心に—



フランス語圏文化研究室
【比較文化研究】
●『レミーのおいしいレストラン』における建築様式と視覚効果
●フランス人の労働観



日本文学研究室
【日本文学・文化研究】
●ジブリ作品の女性主人公とディズニープリンセスの比較
●民俗舞踊の継承に関する研究
—津久見扇子踊りを事例に考える—



韓国語教育研究室
【韓国語・韓国文化研究】
●日韓ドラマ制作環境の分析・比較研究
●日本と韓国の選挙活動からみる日本の選挙活動の課題



経営学研究室
【経営学研究】
●スマートフォンのゲームアプリが人に及ぼす影響
—「原神」「Pokémon GO」の事例を中心に—
●大分県の観光資源「温泉」を支えるサウナの価値と可能性



歴史観光学研究室
【歴史・文化観光研究】
●大分市と長崎市における祭礼行事を用いた観光施策に関する比較研究
●大分市の観光施策に関する研究

オープンキャンパスを開催しました



8月3日⑤、国際総合学科のオープンキャンパスを開催しました。学科説明、語学実習の活動紹介、ミニ講義などを行いました。ミニ講義の内容は、宮野幸岳准教授による観光学講座や、許挺傑准教授による中国語講座でした。

また、在学生との対話ができるカフェスペースを設置し、和やかな雰囲気に参加した皆さんに楽しんでいただきました。

第43回大分国際車いすマラソンにボランティアとして参加しました



国際総合学科の学生25名が、11月17日⑩に行われた第43回大分国際車いすマラソンに出場するため来県している海外選手の通訳やアテンドとして参加しました。期間中は、練習や食事、大会受付などに付き添い、大会以外でも全面的にサポートしました。「海外選手のアテンドはもちろん、通訳をすることは実践的な勉強としても非常に貴重な経験でした。とても有意義な時間となりました」と参加した学生は感想を述べていました。

外務省中東欧州担当政府代表、中東和平問題特使の上村司氏による特別講義が行われました



12月6日⑨ 多文化理解論にて外務省中東欧州担当政府代表、中東和平問題特使の上村司氏による特別講義が行われました。上村司氏は2017年より3年間サウジアラビア大使を務め、現在は中東地域及び欧州地域に関連するさまざまな問題に関し、関係国政府等と交渉するための日本政府代表（中東和平問題特使）に就任しています。

今回は「中東世界を見る視点」と題して今の中東世界についての講義をしてくださいました。授業の終わりには学生からの質問コーナーもあり、中東の情勢に関することや、いつ中東に訪れることができるようになるのかといった学生からの投げかけに丁寧に答えてくださいました。



人間・地域・情報を細かく研究 卒業研究発表会を開催

1月29日⑩、30日⑪の2日間、情報コミュニケーション学科 卒業研究発表会を開催し12研究室から50のテーマ発表が行われました。
情報コミュニケーション学科では、社会の仕組みや生活の中での興味・疑問に感じたテーマを掘り下げ、アンケート調査や事例研究など、さまざまな論文を発表しました。



【地域ビジネスコース】

- 女性の社会進出を阻む要因
- 日本の女性労働の歴史や考え方の各国の比較-
- 地方都市におけるコンテンツツーリズムの成功要因分析
- 大分県日田市における「進撃の日田」を事例として-
- 古民家カフェを成功させるための共通要因分析
- 大分県内に所在する古民家カフェの比較調査-



【情報メディアコース】

- ローカルテレビ局主催の事業が与える地域への影響
- 「テレビ大分」から考える地域密着型の取り組み-
- 特許文献から考察するVRゲームの未来
- 進化するVRがゲーム業界にもたらすもの-
- 観光集客におけるインフルエンサー活用に関する事例研究



【心理スポーツコース】

- スポーツレカの相場について
- 大谷翔平選手の活躍との関係-
- ファンにとって「推し」とは何か?
- ブログ記事の内容分析-
- 友人の人数による疲労感と満足度の違い



サービスラーニング情報

service learning report

「学んだことを地域で活かす、地域で活動することで学びの意味を考える」

大分川清掃および大友宗麟の歴史探索



大友宗麟の歴史について学びながら、大分川の清掃活動を行いました。



生成AIを用いて短編小説を作る作業やチャットGPTを使った社会的課題を解決するアイデアソンを行いました。

生成AIを用いた社会問題解決ワークショップ

大分西新町通り天神さま夢通り



大分市西新町通りで行われる夏祭りの企画運営を行いました。



大分青年会議所と共同で一万个の風船を準備して夏の夜空に放ちました。

セタブロードウェイ2024

竹楽



竹田市での「竹楽」にて竹灯籠の設置・点火の支援作業を行い、地域観光に貢献しました。

くちなしの実収穫支援



高齢化と過疎化が急速に進む大分市野津原福宗地区においてくちなしの実の収穫作業を支援しました。

大分の豊かな自然を学ぶワークショップ



JR大分駅前において大分市が主催する「グリーンフェス」にて学生が準備・企画したリース・ツリー制作のワークショップを開催しました。



竹田市の卵野農園において、とうきびの収穫・加工・販売の支援業務を行いました。

食育ツーリズム2024



大分トリニータの対戦日にレゾナックドーム大分にてフェイスルを販売しました。

大分トリニータの集客活動



鶴崎商工会議所の方々と鶴崎二十三夜祭のイベントの準備や企画・運営しました。

鶴崎清正公二十三夜祭



芸短大オリジナルボールペンを制作し、県内各所で募金活動を行いました。

赤い羽根共同募金 応援プロジェクト

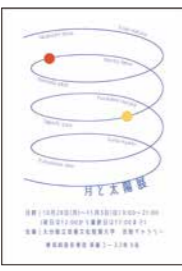


府内五番街商店街と協力して学生主体のイベントを開催。多くの方で賑わいました。

ふないキッズフェスタ



「月と太陽展」
10月28日～11月3日
専攻科造形専攻2年美術コース8名



「ゆるり」
11月4日～11月7日
専攻科造形専攻
2年美術コース
福留亜未



学内ギャラリー作品紹介 On-campus Gallery



「四愛」
11月11日～11月14日
美術科美術専攻1年4名



「竹の造形習作展」
11月20日～11月29日
美術科デザイン専攻1年生



「Art Palette 展」
12月16日～12月20日
美術科美術専攻2年生5名

竹田キャンパス



竹田キャンパスは、セミヤサークルでの合宿、創作活動の拠点として竹田市に2010年4月にオープンした、芸文短大と地域との交流の場です。

竹田キャンパスへの帰り道。夜になると様々な動物に遭遇します、猪、鹿、狸、イタチ、キツネ等、まだ車でぶつかったことは無いのですが、ヒヤッとする場面はあります。猪や鹿は結構大きくて、いきなり飛び出してくると、こちらもですが、こちらもびっくりします。ウサギに遭遇する事も度々あるのですが、ウサギの場合明るい所にくる習性があるのか車の前で立ちすくみ、こちらに気が付いて逃げるのも車の前を走り続けるので危ないです。こっちも気を付けて運転するので、飛び出さないでね。

非常勤講師 大学OB 前田亮二

コロナ禍の ウィーンフィル日本公演



学長
コラム

「生きる喜び」

似顔絵：
学長秘書高野桐子

2020年秋にゲルギエフ指揮でウィーンフィルが来日した。世の中は新型コロナウイルスで大騒ぎだった。サントリー主催でチャーター機での来日だった。ウィーンで団員全員にPCR検査し、医師が帯同して福岡空港に到着し、空港で5時間のPCR検査を経て北九州で最初の公演を行った。

北九州から大阪、大阪から東京は新幹線の車両を借り切って移動した。東京公演は毎日満席だった。私はPCR検査陰性という結果を得てゲルギエフに会ったがホテルで空いているのはパーしかなかった。東京駅で焼肉弁当を買って、私のワインを飲みながら毎晩彼の部屋で一緒に食事した。

最終日には午前2時に羽田からチャーター機が飛び立つことになっていた。ゲルギエフはコンサート後に団員に夕食をふるまい、苦勞をねぎらった。その後私たちは彼の部屋でワインを楽しみ、パーカウンターに並べられたワインの空瓶をビデオに写しながら全世界に放送した。「世界的なパンデミックの中でこのようなことをやってくれたのは、今回も日本だった」と。

GEITAN NEWS vol.78

Latest topics at Oita Prefectural College of Arts and Culture

赤い羽根共同募金贈呈式を行いました

1月8日(水)、本学にて2024年度の「赤い羽根の共同募金応援プロジェクト」に関する募金贈呈式が執り行われました。このプロジェクトは、美術科デザイン専攻の学生がデザインしたボールペンを活用し、本学が実施する「サービスマーケティング」の一環として、学生らが県内各地で募金活動を行うもので、今年で12回目の開催を迎えました。

式典では学生を代表し情報コミュニケーション学科1年の後藤優里さんが、今年度の募金、計139,065円の目録を大分県共同募金会の細川浩明事務理事に手渡しました。

細川浩明事務理事より感謝の意が伝えられ、今年度集まった金額は大分県内の各種社会福祉事業に用いられることが述べられました。

今後このような福祉貢献活動に積極的に参加してきたいと思えます。



日々是精進

美術

FACE展2025

入選 中村 実聖(雅号: 聖) (2年 美術専攻)

第78回 全日本学生音楽コンクール全国大会
声楽部門 大学の部

第3位 前田 光稀(2年 声楽コース)

第52回 大分県音楽コンクール 本選会
管打楽器部門 木管 大学・一般の部

第1位 西 亜門(2年 管弦打コース)

第2位 青田 みゆ(2年 管弦打コース)

ピアノ部門 大学・一般の部

第2位 永吉 亜子(2年 ピアノコース)

第73回 南日本音楽コンクール
ピアノ部門 大学・一般の部

入選 井之上 明花(2年 ピアノコース)

第28回 PIARAピアノコンクール
熊本予選 シニア C部門

優秀賞 佐藤 ひなた(2年 ピアノコース)

第30回 宮日音楽コンクール 本選
ピアノ部門 高校・大学・一般の部

最優秀賞 松本 明衣(2年 ピアノコース)

音楽科

専攻科

第13回 インテリア設計士の家具デザインコンペ
佳作・JIA賞 堀 遼太郎(1年 専攻科造形専攻)
第28回 身近なヒント発明展

奨励賞 堀 遼太郎(1年 専攻科造形専攻)

第52回 大分県音楽コンクール 本選会
弦楽器部門 大学の部

第1位 瀬嶋 奏平(1年 専攻科管弦打コース)

声楽部門 大学の部

第2位 馬場 結菜(1年 専攻科声楽コース)

第3位 吉良 彩伽(2年 専攻科声楽コース)

第30回 宮日音楽コンクール 本選
管楽器部門 高校・大学・一般の部

優秀賞 角 日菜子(1年 専攻科管弦打コース)

入選 高野 純(1年 専攻科管弦打コース)
打楽器部門 高校・大学・一般の部

優秀賞 佐々木 星奈(1年 専攻科管弦打コース)

第20回 中津アンティムジークピアノコンクール
ソロ部門 大学生コース 自由曲部門

第2位 森本 さくら(2年 専攻科ピアノコース)

第34回 日本クラシック音楽コンクール
声楽 大学生部門

全国大会出場 吉田 駿(2年 専攻科声楽コース)

専攻科



新しく学友会長になりました! 情報コミュニケーション学科1年の今村詩乃です! 現在は新体制20人で楽しく活動しています。来年度もたくさんの行事を皆さんと楽しく盛り上げたいと思っています! また、3月には先輩方の卒業パーティーを行います。ぜひお越しください! 学友会のメンバーも随時募集しているので、2年次からでも興味のある方は大歓迎です! 私たちと一緒に芸短を盛り上げましょう!!

Instagram
@geitandayooo



X(旧 Twitter)
@GakuyuGetan



TikTok
@oita.gt.gk

